

# 日本視覚学会 2006 年冬季大会プログラム

期 日：2006 年 1 月 25 日（水）～1 月 27 日（金）

場 所：工学院大学新宿キャンパス 3 階アーバンテックホール（旧 0312 教室）

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2

（新宿駅西口より徒歩 5 分：<http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>）

- 一般講演の発表は、発表時間 10 分、質疑 5 分の計 15 分です。
- 口頭発表では、ビデオ／データプロジェクター、VTR（VHS）各 1 台を使用できます。それ以外の機器を使用される場合は、早めに事務局へ連絡してください。講演者は、発表セッションの前に、使用機器の確認をお願いいたします。
- ポスターパネルの大きさは、1 件につき横 180 cm、縦 90 cm です。発表番号（以下の表題左側に記載のもの）と表題を記載した用紙をご用意ください。ポスター取り付け用のピンは会場で用意します。ポスターセッションは午後ですが、当日午前中よりポスターを掲示しておくことができます。

## 1 月 25 日（水）

09:50-10:00	開会	実行委員長 木村英司（千葉大学）
10:00-11:00	セッション 1（一般講演 1）	座長：村上郁也（東京大学）
5o01	ガボール要素からなるグローバル運動刺激による運動統合メカニズムの解析	西田真也 <sup>1</sup> ，天野 薫 <sup>1,2</sup> ，Mark Edwards <sup>3</sup> ，David R. Badcock <sup>4</sup> (NTT コミュニケーション科学基礎研究所 <sup>1</sup> ，東京大学 <sup>2</sup> ， Australian National University <sup>3</sup> ，University of Western Australia <sup>4</sup> )
5o02	刺激の運動による色誘導効果へおよぼす刺激呈示条件の影響	河原勇美，内川恵二（東京工業大学）
5o03	運動残効による触運動知覚の研究－視覚・触覚における運動知覚の相違－	渡邊淳司 <sup>1,2</sup> ，林 政一郎 <sup>3</sup> ，梶本裕之 <sup>3</sup> ，館 暉 <sup>3</sup> （科学技術振興機構さきかけ <sup>1</sup> ， NTT コミュニケーション科学基礎研究所 <sup>2</sup> ，東京大学 <sup>3</sup> ）
5o04	運動刺激への能動的関与による Flash-lag effect 低減は手と刺激間の運動方向の一致に依存する	一川 誠 <sup>1</sup> ，政倉祐子 <sup>2</sup> （山口大学 <sup>1</sup> ，産業技術総合研究所 <sup>2</sup> ）
11:00-11:20	休憩	
11:20-12:20	セッション 2（特別講演 1）	座長：栗木一郎（東北大学）
	見るといふこと：心理学的並びに神経学的視点から	小泉英明（日立製作所）
12:20-13:20	休憩	

- 13:20-15:50 セッション3 (シンポジウム)「自然画像の統計解析と視知覚」  
 座長：西田眞也 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)  
 視覚研究における画像統計学の役割：質感知覚を例にして  
 本吉 勇 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)  
 色-輝度相関と色恒常性 中内茂樹 (豊橋技術科学大学)  
 画像色域からの照明光推定 富永昌治 (大阪電気通信大学)
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-18:00 セッション4 (ポスターセッション1)
- 16:00-17:00 奇数番号ポスター責任時間
- 17:00-18:00 偶数番号ポスター責任時間
- 5p01 NIRS によるヒト視覚野のレチノトピー構造観測の試み  
 田谷修一郎, 前原吾朗, 小島治幸 (金沢大学)
- 5p02 MEG に対する Integrator モデルによる redundant signal effect の検討  
 大久保達夫<sup>1</sup>, 天野 薫<sup>1,2</sup>, 小林明裕<sup>1</sup>, 西田眞也<sup>2</sup>, 武田常広<sup>1</sup>  
 (東京大学<sup>1</sup>, NTT コミュニケーション科学基礎研究所<sup>2</sup>)
- 5p03 回転ランダムドットシリンダーを用いた奥行き手がかり統合に関わる脳活動の MEG  
 計測 大脇崇史, 武田常広 (東京大学)
- 5p04 平面画像の両眼固視で知覚される奥行き不連続  
 光藤宏行 (ATR 人間情報科学研究所)
- 5p05 色情報との対応付けによる奥行き知覚の変化  
 上田弘樹, 金子寛彦 (東京工業大学)
- 5p06 視野闘争時における抑制強度の時間的変移-再検討-  
 高瀬慎二, 行松慎二, 鬢櫛一夫 (中京大学)
- 5p07 運動方向の視野闘争知覚過程の階層性  
 篠崎隆志<sup>1</sup>, 宮脇陽一<sup>2</sup>, 武田常広<sup>1</sup> (東京大学<sup>1</sup>, 理化学研究所<sup>2</sup>)
- 5p08 両眼視野闘争時の優位判断によるコントラスト感度関数の測定  
 森井政仁, 内川恵二, 瀬川かおり (東京工業大学)
- 5p09 視野闘争する色刺激の見えに対して先行刺激が与える影響  
 阿部 悟, 木村英司, 御領 謙 (千葉大学)
- 5p10 凝視面周辺における両眼立体視にかかる時間 大塚聡子 (埼玉工業大学)
- 5p11 両眼立体視と両眼間運動の関係についての検討  
 池宮城 匡<sup>1</sup>, 丸谷和史<sup>2,3</sup>, 佐藤隆夫<sup>1</sup> (東京大学<sup>1</sup>,  
 日本学術振興会<sup>2</sup>, 東京慈恵会医科大学<sup>3</sup>)
- 5p12 残効を利用した両眼立体視に関する研究  
 福本純久, 石井雅博, 田村宏樹, 唐 政 (富山大学)
- 5p13 ノニアス (Nonius) を用いたホロプター計測における刺激提示時間の影響  
 井口敏史, 石井雅博, 田村宏樹, 唐 政 (富山大学)
- 5p14 視対象の方向知覚における両眼視差の効果  
 才村一矢, 石井雅博, 田村宏樹, 唐 政 (富山大学)
- 5p15 単眼両眼視野境界における補完面の形状と異方性  
 藤井芳孝, 金子寛彦 (東京工業大学)

- 5p16 盲点をはさむ線分の整列効果におよぼす補完の影響  
蘭 悠久, 中溝幸夫 (九州大学)
- 5p17 空間定位における視覚的／聴覚的エゴセンターの位置  
助宮 治<sup>1</sup>, 中溝幸夫<sup>1</sup>, 花田カヲル<sup>2</sup>, 吉松政春<sup>2</sup>  
(九州大学<sup>1</sup>, 福岡県立福岡高等盲学校<sup>2</sup>)
- 5p18 視・聴・力覚が提示可能なマルチモーダルインターフェースの感性的評価  
須佐見憲史<sup>1</sup>, 吉田俊介<sup>1</sup>, 橋田康皇<sup>1,2</sup>, 野間春生<sup>1</sup>, 保坂憲一<sup>1</sup>  
(ATRメディア情報科学研究所<sup>1</sup>, 大阪工業大学<sup>2</sup>)
- 5p19 探索における線形分離性の視覚－触覚間比較  
横井健司<sup>1</sup>, 和氣典二<sup>2</sup>, 和氣洋美<sup>3</sup>, 斎田真也<sup>4</sup>  
(産業技術総合研究所<sup>1</sup>, 中京大学<sup>2</sup>, 神奈川大学<sup>3</sup>, 防衛大学校<sup>4</sup>)
- 5p20 映像と音の等価知覚－中心視野と周辺視野における比較－  
小野雅博, 中根 哉, 長谷川光司, 春日正男, 阿山みよし (宇都宮大学)
- 5p21 視聴覚刺激観察時の能動的操作が快適感に及ぼす効果  
豊野智穂, 一川 誠 (山口大学)
- 5p22 内発的な運動情報が姿勢制御に及ぼす影響 妹尾武治, 佐藤隆夫 (東京大学)
- 18:00-19:00 幹事会

1月26日(木)

- 09:45-11:00 セッション5 (一般講演2) 座長: 塩入 諭 (東北大学)
- 6o01 上下視野に非対称な空間周波数特性をもつ長距離相互作用  
田中靖人<sup>1</sup>, 宮内 哲<sup>1</sup>, 三崎将也<sup>1</sup>, 太城敬良<sup>2</sup>  
(情報通信研究機構<sup>1</sup>, 友愛大学<sup>2</sup>)
- 6o02 単眼呈示マスキング縞刺激が同眼あるいは異眼に呈示されるテスト刺激の方向検出感度に与える影響  
津野賢裕, 篠森敬三 (高知工科大学)
- 6o03 The Effect of Transient Stimuli on Stream/Bounce Perception in Cyclopean and Luminance-defined Displays Philip Grove, 櫻井研三 (Tohoku Gakuin University)
- 6o04 Bi-stable Motion Perception and Occlusion Gerard Remijn, 伊藤裕之 (九州大学)
- 6o05 運動方向弁別を用いた視覚的注意の空間解像度の測定  
佐々木 亮, 宇賀貴紀 (順天堂大学)
- 11:00-11:20 休憩
- 11:20-12:35 セッション6 (一般講演3) 座長: 河本健一郎 (中京大学)
- 6o06 注意移動モデルの動画への適用の試み  
服部和成<sup>1</sup>, 塩入 諭<sup>2</sup>, 矢口博久<sup>1</sup> (千葉大学<sup>1</sup>, 東北大学<sup>2</sup>)
- 6o07 モード移行輝度の色度特性メカニズムの解析  
福屋貴之, 内川恵二 (東京工業大学)
- 6o08 群閃光の実効光度へのパルス光 ON・OFF時間の影響  
田辺智得, 今泉勇樹, 中山昌春 (東京理科大学)
- 6o09 エイムズの歪んだ部屋を用いたエンメルトの法則の妥当性の検証  
今村真理子, 中溝幸夫 (九州大学)

6o10	身体認識とその倒立効果の年齢比較：7歳から成人まで 片山純一 <sup>1</sup> ，井上康之 <sup>1</sup> ，板倉昭二 <sup>2</sup> ，北崎充晃 <sup>1</sup> (豊橋技術科学大学 <sup>1</sup> ，京都大学 <sup>2</sup> )
12:35-13:30	休憩
13:30-14:00	セッション7 (研究動向) 座長：西田眞也 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所) 視覚研究のデジタルアーカイブ：Visiome Platform 堺 浩之 (理化学研究所)
14:00-14:20	休憩
14:20-15:35	セッション8 (一般講演4) 座長：櫻井研三 (東北学院大学)
6o11	視覚面特徴の時間的捕捉 本吉 勇 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
6o12	ウェーブレットを用いた錯視の研究 新井仁之 (東京大学)
6o13	静止画が動いて見える錯視に及ぼすフリッカーとまばたきの効果 北岡明佳 <sup>1</sup> ，蘆田 宏 <sup>2</sup> ，村上郁也 <sup>3</sup> (立命館大学 <sup>1</sup> ，京都大学 <sup>2</sup> ，東京大学 <sup>3</sup> )
6o14	静止画が動いて見える錯視に及ぼす固視微動の効果 村上郁也 <sup>1</sup> ，北岡明佳 <sup>2</sup> ，蘆田 宏 <sup>3</sup> (東京大学 <sup>1</sup> ，立命館大学 <sup>2</sup> ，京都大学 <sup>3</sup> )
6o15	1才未満の乳幼児の眼球運動を較正する新しい試み 古賀一男 (名古屋大学)
15:35-15:45	休憩
15:45-17:45	セッション9 (ポスターセッション2)
15:45-16:45	奇数番号ポスター責任時間
16:45-17:45	偶数番号ポスター責任時間
6p01	刺激の形状，色，サイズ等が数量比較に与える影響 原口大仁郎，篠森敬三 (高知工科大学)
6p02	円とその残像の知覚的ポリゴン化 伊藤裕之 (九州大学)
6p03	行動を意識する大きさ判断における学習の影響 羽原啓史 <sup>1</sup> ，安藤広志 <sup>1,2</sup> ，金子寛彦 <sup>1</sup> (東京工業大学 <sup>1</sup> ，ATR 人間情報科学研究所 <sup>2</sup> )
6p04	周辺視野での形状認識へおよぼす視覚的注意の影響 武田二郎，瀬川かおり，内川恵二 (東京工業大学)
6p05	周辺視野における概形知覚の学習効果 沖井徹也，小島治幸 (金沢大学)
6p06	周辺視野における刺激検出に対する熟練効果の測定 庄司将章，瀬川かおり，内川恵二 (東京工業大学)
6p07	フリッカ運動残効における色情報の両眼間転移 中里陽一 <sup>1</sup> ，矢口博久 <sup>1</sup> ，塩入 諭 <sup>2</sup> (千葉大学 <sup>1</sup> ，東北大学 <sup>2</sup> )
6p08	フリッカ誘引盲 河邊隆寛，三浦佳世 (九州大学)
6p09	Cast shadow の物理的整合性とそれが物体の見かけの運動に与える影響 佐々木より子，中内茂樹 (豊橋技術科学大学)
6p10	眼間時差情報から生じる速度知覚 荻谷光晴，酒井 宏 (筑波大学)
6p11	運動透明視と運動からの構造復元の関係 細川研知，佐藤隆夫 (東京大学)
6p12	Pseudo-plaid 運動における時空間特性 中嶋 豊，佐藤隆夫 (東京大学)
6p13	先行ガボール刺激による方位弁別促進効果の検討 竹井成和 <sup>1,2</sup> ，横澤一彦 <sup>1</sup> ，竹内龍人 <sup>2</sup> (東京大学 <sup>1</sup> ，NTT コミュニケーション科学基礎研究所 <sup>2</sup> )

- 6p14 移動体の不可視領域通過事象における時間的整合性  
和田雅義, 岡嶋克典 (横浜国立大学)
- 6p15 SAT 課題を用いた 2 次属性で定義された輪郭線形成の時間特性の測定  
丸谷和史<sup>1,2,3</sup>, 中嶋 豊<sup>3</sup>, 佐藤隆夫<sup>3</sup>  
(日本学術振興会<sup>1</sup>, 東京慈恵会医科大学<sup>2</sup>, 東京大学<sup>3</sup>)
- 6p16 周辺ドリフト錯視図形における時間的な背景輝度変化の効果  
富松江梨佳, 伊藤裕之, 須長正治 (九州大学)
- 6p17 視覚的注意の有無の「見られている感」への影響  
椎橋哲夫, 内川恵二 (東京工業大学)
- 6p18 視覚的注意課題負荷に伴う周辺視野における運動方向弁別の時空間特性の変化  
瀬川かおり, 内川恵二 (東京工業大学)
- 6p19 Object Substitution Masking on the Fly  
葭田貴子, Patrick Cavanagh (Harvard University)
- 6p20 視覚探索におけるサッカードの軌跡と過去の注視位置の関係  
十河宏行, 武田裕司 (産業技術総合研究所)
- 6p21 若年者と高齢者の反復による二重課題遂行能力の推移  
河本健一郎, 和氣典二 (中京大学)
- 6p22 物体の新奇性が左右脳機能の視点依存性に与える影響—事象関連電位による検証—  
打尾健太, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学)
- 17:45–18:45 世話人会

### 1 月 27 日 (金)

- 09:45–11:00 セッション 10 (一般講演 5) 座長: 田中靖人 (情報通信研究機構)
- 7o01 V1 における両眼視差と眼間時差の統合符号化の計算論的モデルの検証  
勝又詩織, 酒井 宏 (筑波大学)
- 7o02 Alpha ringing を利用した位相同期仮説の検証 成瀬 康<sup>1</sup>, 眞溪 歩<sup>1,2</sup>  
早川友恵<sup>2,3</sup>, 藤巻則夫<sup>2</sup> (東京大学<sup>1</sup>, 情報通信研究機構<sup>2</sup>, 帝京大学<sup>3</sup>)
- 7o03 刺激提示前の注意による低次視覚野の変化と作業パフォーマンスの高い相関関係  
山岸典子<sup>1</sup>, Daniel Callan<sup>1</sup>, 郷田直一<sup>2</sup>, Stephen Anderson<sup>3</sup>, 川人光男<sup>1</sup>  
(ATR 脳情報研究所<sup>1</sup>, 自然科学研究機構生理学研究所<sup>2</sup>, Aston University<sup>3</sup>)
- 7o04 Motion Induced Spatial Conflict と脳内振動周波数の関係  
天野 薫<sup>1</sup>, Derek Arnold<sup>2</sup>, Alan Johnston<sup>3</sup>, 武田常広<sup>1</sup>  
(東京大学<sup>1</sup>, The University of Sydney<sup>2</sup>, University College London<sup>3</sup>)
- 7o05 Fast fMRI Adaptation to First-order and Second-order Motion  
Hiroshi Ashida<sup>1,2</sup>, Angelika Lingnau<sup>2,3</sup>, Matthew B. Wall<sup>2</sup>, Andrew T. Smith<sup>2</sup>  
(Kyoto University<sup>1</sup>, University of London<sup>2</sup>, University of Trento<sup>3</sup>)
- 11:00–11:20 休憩

11:20-12:20	セッション 11 (特別講演 2)	座長：栗木一郎 (東北大学)
	視覚野から高次機能野への情報伝達を fMRI で見る	小川誠二 (濱野生命科学研究所, 小川脳機能研究所)
12:20-13:20	休憩	
13:20-15:20	セッション 12 (ポスターセッション 3)	
13:20-14:20	奇数番号ポスター責任時間	
14:20-15:20	偶数番号ポスター責任時間	
7p01	色による形状知覚と色弁別の色度分布特性の比較	永井岳大, 内川恵二 (東京工業大学)
7p02	知覚的等色が成立した異種照明下でのメタメリック等色条件	山内泰樹 <sup>1</sup> , 河原勇美 <sup>2</sup> , 内川恵二 <sup>2</sup> (富士ゼロックス <sup>1</sup> , 東京工業大学 <sup>2</sup> )
7p03	輝度と彩度の相関に基づく複数色相のテクスチャー弁別	齋藤晴美 <sup>1,2</sup> , 竹内龍人 <sup>2</sup> , 佐藤隆夫 <sup>1</sup> (東京大学 <sup>1</sup> , NTT コミュニケーション科学基礎研究所 <sup>2</sup> )
7p04	金色知覚を生起する色度範囲の測定	西澤孝史, 内川恵二, 瀬川かおり (東京工業大学)
7p05	動画における色弁別特性	渡邊直孝, 矢口博久 (千葉大学)
7p06	反射光プロファイルの時空間特性に依存する光沢感	永田雅人 <sup>1</sup> , 岡嶋克典 <sup>1</sup> , 大住雅之 <sup>2</sup> (横浜国立大学 <sup>1</sup> , オフィス・カラーサイエンス <sup>2</sup> )
7p07	二色型色覚異常者の赤緑方向照明変化に対するカテゴリカル色恒常性の測定	鳴海翔太, 瀬川かおり, 内川恵二 (東京工業大学)
7p08	自然画像の色弁別における物体認識の影響	中林大樹, 矢口博久 (千葉大学)
7p09	自然画像における色の見えの評価	金 ジュウン, 矢口博久 (千葉大学)
7p10	輝度分布が不均一な視環境における視認性の定量化	松本哲士, 岡嶋克典 (横浜国立大学)
7p11	色のついたカフェウォール図形の錯視量	齊藤浩一, 鶴飼一彦 (早稲田大学)
7p12	2次元複合ドリフト正弦波格子に対する運動知覚と焦点調節応答特性	鈴木康之, 松井利一 (群馬大学)
7p13	擬似中間調静止画像知覚に於ける焦点調節応答特性	鯉沼成暢, 松井利一 (群馬大学)
7p14	映像酔いに対する提示サイズと観察者属性の効果	氏家弘裕 <sup>1</sup> , 斎田真也 <sup>2</sup> (産業技術総合研究所 <sup>1</sup> , 防衛大学校 <sup>2</sup> )
7p15	Combined Rotations and Translations and the Effect on Visually-induced Motion Sickness	Cyriel Diels, Peter A. Howarth (Loughborough University)
7p16	画像提示の3次元性が映像酔いに及ぼす影響 - 自動車運転場面での実画像を用いて -	中村信次 (日本福祉大学)
7p17	光点顔の表情知覚におけるフレーム数と点の数の効果	松寄直幸, 佐藤隆夫 (東京大学)
7p18	視線からの興味抽出	青木美奈, 勝本道哲 (情報通信研究機構)

- 7p19 頭部と視線の方向一致性が視線方向判断に及ぼす影響の視線方向依存性について  
土居裕和, 植田一博 (東京大学)
- 7p20 仮想経路の移動シミュレーションにおける時空間の評価  
岡東 崇, 関口啓貴, 北島律之 (長崎総合科学大学)
- 7p21 ドライビングシミュレータ運転操作の負荷とドライバーの眼球運動特性  
林 秀彦<sup>1</sup>, 林 豊<sup>1</sup>, 三好哲也<sup>2</sup>, 鈴木大介<sup>2</sup>, 中易秀敏<sup>1</sup>  
(甲南大学<sup>1</sup>, 豊橋創造大学<sup>2</sup>)
- 7p22 右折時の間隔受け入れ判断に両眼網膜非対応が及ぼす影響  
鈴木雅洋, 金子寛彦 (東京工業大学)
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-17:30 セッション 13 (ミニシンポジウム)「知覚・認知の多様性」  
座長：木村英司 (千葉大学)  
Comparative perception の新たな展開：視覚的体制化をめぐる  
牛谷智一 (千葉大学)  
事物の認知とカテゴリー化：比較心理学的アプローチ 実森正子 (千葉大学)
- 17:30-17:40 総会
- 17:40-17:50 閉会 次期 (2007 年冬季) 大会実行委員長 村上郁也 (東京大学)